

令和5年度 評価規準

教科	国語	学年	第6学年
----	----	----	------

江戸川区立南小岩第二小学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉で伝え合おう	5	・自分のことを客観的に捉えて話す。 ・繰り返しの響きや意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。 ・言葉の意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。	・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ・思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ・文章を音読したり朗読したりしている。 ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	・積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。 ・進んで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。 ・進んで言葉の意味を考え、学習の見通しをもって音読しようとしている。
図に表して考えよう	3	・考えや意見を図に書いてまとめる。	・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	・粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。

令和5年度 評価規準

筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう	11	・自分に重ねながら随筆を読み、それを参考に、自分のものの見方や考え方を深め、経験したことなどを表現を工夫して書く。	・親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 ・思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	・進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書くようしている。 ・積極的に随筆の特徴について理解し、今までの学習を生かして、者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。 ・積極的に随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書くようしている。
漢字の広場	2	・三字以上の熟語の構成について理解を深め、由来に関心をもつ。 ・絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	・思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心を持ち調べようとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くようしている。
筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう	5	・雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討しながら読み、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめる。	・情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	・積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。

令和5年度 評価規準

主語と述語の対応をみる	2	・主語と述語の対応を確認して、文のねじれに気づき、正しく直す。	・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。		・積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。
立場を決めて、主張を明確にしよう	10	・立場や意見をはっきりさせて話し合ったり、パンフレットを作成して伝えたりする。	・思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	・粘り強く意見の違いを大事にしながらか話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。 ・積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。
雨	1	・「雨」を扱った言語表現を集める。	・語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	・粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。

令和5年度 評価規準

世代による言葉のちがい	2	・世代による言葉遣いの違いについて理解し、相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使うことができるようにする。	・語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	・積極的に世代による言葉遣いの違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。
漢字の広場	2	・複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味に関心をもつ。 ・絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	・語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。 ・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
すぐれた表現の効果を考え、登場人物の心情を読もう	7	・優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、優れた表現についての感想を話し合う。	・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 ・文章を音読している。	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	・進んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。

令和5年度 評価規準

教えて! あなたのとおき	2	・話し手の意図を考慮しながら聞き, 自分の意見と比べて考えをまとめる。	・言葉には, 相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において, 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて, 話の内容を捉え, 話し手の考えと比較しながら, 自分の考えをまとめている。	・積極的に話し手の意図を考慮し, 今までの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。
詩を味わおう	1	・言葉の広がりを感じながら, 詩の世界を楽しむ。	・思考に関わる語句の量を増し, 話の中で使っていると同時に, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにしている。また, 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して, 語や語句を使っている。	・「読むこと」において, 登場人物の相互関係や心情などについて, 描写を基に捉えている。	・積極的に言葉の広がりを感じ, 学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。
「知恵の言葉」を集めよう	1	・生活の中で使われている知恵の言葉に気がつき, 言葉の使い方への理解を深める。	・思考に関わる語句の量を増し, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにしている。 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において, 目的や意図に応じて, 感じたことや考えたことなどから書くことを選び, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝えたいことを明確にしている。	・進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し, 学習の見直しをもって自分の「知恵の言葉」をつくろうとしている。

令和5年度 評価規準

てんかいを考えて、表現を工夫して書こう	5	・写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作る。	・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	・積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。
会話を広げる	3	・相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、相手との言葉の掛け合いの工夫を考える。	・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	・積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。
漢字の広場	2	・意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分ける。 ・絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	・思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っていると、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。

令和5年度 評価規準

「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう	12	・友達と自分の感じ方の違いについて考える。	・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	・進んで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習課題に沿って友達と自分の感じ方の違いについて考えようとしている。 ・進んで筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、自分の経験をふりかえりながら「心の世界」について考えようとしている。 ・積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。
言葉は時代とともに	5	・言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを知り、自分の考えをまとめる。	・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。	・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
説得力のある文章を書こう	6	・理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書く。	・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。

令和5年度 評価規準

漢字の広場	2	・形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解する。	・語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。 ・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう	8	・登場人物の心情の変化を考えながら読み、想像したことを書く。	・思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	・進んで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。
書評を書いて話し合おう	6	・これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合う。	・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること、役立つことに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	・進んで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合おうとしている。

令和5年度 評価規準

敬意を表す言い方	2	・話す相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。	・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。		・積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。
言葉と私たち	2	・言葉に対する自分の考えを書き、言葉への関心を持つ。	・話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	・粘り強く論の進め方について考え、学習の見通しをもって言葉に対する自分の考えを書こうとしている。
漢字の広場	2	・異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分ける。 ・絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 ・思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。

令和5年度 評価規準

伝記を読んで、人物の生き方について自分の考えをまとめよう	11	・伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介する。	・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	・積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。
日本語の文字	2	・日本語の文字の由来や特徴に関心をもち、適切に使い分けことができる。	・語句の由来などに関心をもち、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。	・積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。
漢字の広場	1	・同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもち、	・思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもち、調べようとしている。

令和5年度 評価規準

出会った言葉をふり返ろう	8	・卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つ。	・話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持とうとしている。
--------------	---	--	------------------------	--	---